

看護理論家の業績と理論評価

編：簡井真優美／医学書院

定価：本体 6400 円＋税／TEL：03-3817-5657

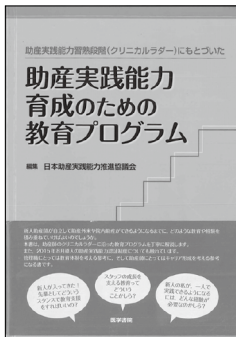
●海外の著名な看護理論家を紹介した『看護理論家とその業績』翻訳第3版(2004年、医学書院刊)を土台に、日本の34名の看護研究者たちが、その後の看護理論の発展を反映させ、フローレンス・ナイチンゲールに始まる看護理論について年代を追って解説し、評価を加えた。第I部では、看護理論そのものの変遷を俯瞰し、本書の大きな特徴である評価の基盤と倫理的側面についていねいに解説。さまざまな理論の概要がわかる。教員や研究者必携の一冊。

NANDA-I 看護診断 定義と分類 2015-2017 原書第10版

編：T.ヘザー・ハードマン・上鶴重美／監訳：日本看護診断学会／医学書院

定価：本体 3000 円＋税／TEL：03-3817-5657

●NANDA インターナショナルで承認された看護診断を収めた最新版ハンドブック。26の新しい看護診断を追加、14の看護診断が改訂されたほか、看護診断の基礎からその進め方、NANDA-I 看護診断に関するよくある質問と回答(FAQ)などの解説もさらに充実、看護初学者(学生)、臨床家、教育者向けに展開される。看護診断の学習に、現場でのリファレンスに、ナース必携の書。



助産師実践能力習熟段階(クリニカルラダー)にもとづいた 助産師実践能力育成のための教育プログラム

編：日本助産実践能力推進協議会／医学書院

定価：本体 2700 円＋税／TEL：03-3817-5657

●わが国助産師の役割を明確にうたいあげた「助産師の声明」から9年、助産師に求められる「コア・コンピテンシー」をベースに助産実践能力育成のための初のテキストが誕生した。助産師のクリニカルラダーに沿った教育プログラムをていねいに解説、助産外来や院内助産を自立して行うことができるレベルⅢまでの道筋を示す。院内教育体制を考える管理職に、そしてキャリア形成を考える助産師すべてに。

看護制度と政策

著：野村陽子／法政大学出版局

定価：本体 5300 円＋税／TEL：03-5214-5540

●「看護制度が将来の超高齢社会においても社会の要請にこたえられる制度となっているのか」という問題意識から、看護制度の課題を明らかにし、看護政策の推進方策を考察した(「序章」より)、厚労省医政局看護課長を務めた著者による提言の書。日本の看護を取り巻く制度、政策の歴史的変遷をたどり、なぜ看護の自律性が制限される制度が生まれたのか、現行の看護制度の問題点を挙げ、制度変革への道筋を探る。

